

障害のある人の就労支援と社会参加支援に取り組んでいます

問い合わせ 福祉課障害福祉係
☎ 22-7743

障害者就職準備フェア in 竹原

就職へ向けて様々なコーナー体験ができます。就職への一歩として、ぜひご参加ください。

対象 就職希望の障害者、支援者、保護者、障害者雇用を検討している企業

日時 11月26日(木) 13時30分～15時(12時45分～受付開始)

場所 たけはら美術館文化創造ホール

内容 お仕事体験や模擬面接などの体験コーナー、企業説明会、相談コーナーなど
※参加は無料です。

問い合わせ 社会福祉法人つつじ 広島中央障害者就業・生活支援センター ☎ 082-490-4050



各種教室の開催

障害のある人を対象に各種教室を開催しています。障害のある人やボランティアの人と一緒に、楽しみながら技能を身につけてみませんか。

場所 竹原東幼稚園(料理教室のみ市民館)

内容 料理教室、パソコン教室、生花教室、習字教室、
絵画教室など

開催日 毎月日曜日(各教室1～2回)

※詳しくは、お問い合わせください。

問い合わせ 竹原市手をつなぐ育成会 ☎ 22-1988

点字・声の広報

視覚障害の人を対象に、広報紙、新聞紙、文芸作品などを点訳・朗読録音しています。利用登録(無料)が必要です。また、点訳・朗読ボランティアの養成講座も開催しています。

詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ

竹原市社会福祉協議会

☎ 22-5131

障害のある人の相談窓口

市内の相談支援事業所では、必要な情報の提供や専門機関の紹介、福祉サービス申請や利用のためのお手伝いなどを行っています。

種別(主なもの)	事業所名	住所	電話番号
身体障害分野	竹原地域障害者生活支援センター聖恵	忠海中町三丁目16-1	23-2450
知的障害分野	地域支援センターまいらいふ	中央二丁目10-32	24-6556
精神障害分野	地域生活支援センター365	下野町2402-1	22-7655

※社会福祉協議会のふれあい福祉相談センターでは、障害児者相談を行っています。
日時 毎月第3木曜日 10時～15時 場所 ふくしの駅

12月3日～9日は障害者週間です。

障害のある人もない人も

安心して暮らせる竹原市に



平成 27 年度公募型補助金対象事業が 決定しました！

問い合わせ まちづくり推進課協働推進係
☎ 22-2279

市民活動団体のみなさんの発想や特性を活かした公益的な活動を応援することを主な目的として、広報 8月号で募集した平成 27 年度公募型補助金対象事業について、審査の結果 2 件の事業を採択しましたのでお知らせします。

事業名

「おなし名水」を中心とした地域活性化事業

団体名

小梨名水活性化協議会

交付決定額

250,000 円（補助率 1/2）

目的

「おなし名水」を利用する人が容易に汲む事ができるような安全な足場と水汲み場を作るなど、名水周辺を保安全管理しやすいよう整備し、コミュニティの場づくりと地域振興を図る。

内容

「おなし名水」の施設設備を整備することで、水源周辺の安全を確保し、神話にまつわる亀の石、伝説、名水鑑定書を掲示する。

事業名

町並み裏通りの安全安心の確保及び景観向上事業

団体名

竹原第三地区防犯組合

交付決定額

248,000 円（補助率 1/2）

目的

水路へ竹アーチを設置し、内部をライトアップすることにより、町並み裏通りの安全安心の確保及び景観の向上を図る。

内容

水路への転落の防止と防犯対策のため、街路灯に代わる照明として、竹アーチの内部にライトアップ用の照明器具を設置する。

平成 27 年度環境保全促進助成事業

～竹原第 5 地区協働のまちづくりネットワークによる

賀茂川流域環境保全事業の実施報告～

竹原第 5 地区協働のまちづくりネットワークが、賀茂川流域環境保全事業として、賀茂川流域の水生生物の調査・観察会及び環境保全についての講演会を開催しました。

小学生を対象にしたハチの干潟観察会では、実際にハチの干潟へ行き、様々な生き物を観察しました。

また、賀茂川流域の環境を未来に向けて守っていかうという意識を高めるため、小学生がデザインした環境保全を啓発するのぼり旗を賀茂川沿いに約 100 本設置する等の取組を行いました。

※この事業は全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施しました。

問い合わせ まちづくり推進課協働推進係

☎ 22-2279



特定健診を受診しましょう！

現在、県内の医療機関で特定健診を実施しています。

40歳以上の竹原市国民健康保険の被保険者は、今年度から、医療機関でも自己負担0円で受診できるようになりました。

受診には、10月にお届けした「特定健診受診券(緑色)」と「保険証」が必要です。

実施期間は、平成28年1月末までです。

なぜ受診が必要なの？

好ましくない生活習慣が病気の発症や重症化を引き起こす主な生活習慣病として、糖尿病、高血圧、心臓病、脳卒中があります。

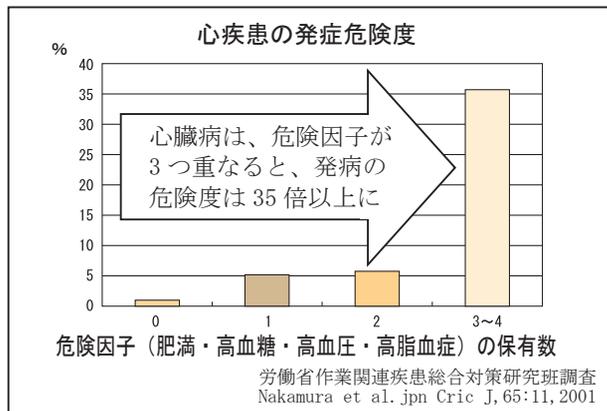
これらの発症に影響する「メタボ(メタボリックシンドローム)」の状態が特定健診でわかるからです。

「メタボ」ってどんな状態？

メタボは、単なる「太りすぎ」ではありません。「内臓脂肪型肥満」に、「高血圧」、「高血糖」、「脂質異常」といったリスクが重なった状態です。

一つ一つのリスクは軽度でも、重なるとう脈硬化が急速に

進み、血管が詰まったり、破れやすくなり、心臓病や脳卒中を起こす危険度が高くなります。



メタボの状態がわかったら？

竹原市国民健康保険では、健康管理に活用するため、保健指導を行っています。

服薬治療を行っていない人には、発症予防のため特定保健指導を行います。

また、すでに生活習慣病で治療している人にも、重症化させないための保健指導を実施しています。

実施時期に応じて、対象者へご案内しますので、申し込んでください。

「いきいき子育てママのナースカフェ」

対象者

子育てのために離職中の看護職有資格者(保健師・助産師・看護師・准看護師)

日時・場所

開催日	開催地	会場	申込締切
1回目 11/30	広島市	合人社ウエンディ ひと・まちプラザ	11/24
2回目 12/7			
1回目 12/11	呉市	広まちづくり センター	12/4
2回目 12/18			
1回目 11/25	東広島市	市役所	11/18
2回目 12/2			

内容 1回目 ナースセンターの紹介
先輩ママ看護師との交流 等
2回目 就業についての相談、復職支援
研修の案内 等

参加費 無料 ※子ども同伴の参加も可能。

申し込み・問い合わせ

広島県看護協会(広島県ナースセンター)へ直接電話(☎ 082-293-9786)で申し込んでください。

受付時間 9時~17時(土日祝日を除く。)

**インフルエンザの流行シーズンです
感染予防と流行拡大防止に取組みましょう**

●外出から帰ったときは、こまめに流水と石鹸で手洗いをしましょう。

洗い残しが多い指先、親指の付け根や手首等を入念に洗いましょう。

●咳エチケットを守りましょう。

咳、くしゃみが出たら、不織布製のマスクを着用しましょう。

鼻水、痰等を含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。

咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

●室内は加湿器などで適度な湿度(50~60%)を保ちましょう。

●睡眠をしっかりととり、バランスのとれた食事を心がけ体力をつけましょう。

問い合わせ 保健センター ☎ 22-7157

「身近でできるリサイクル」の実践について

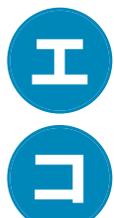


問い合わせ
まちづくり推進課生活環境係
☎ 22-2279

市では、広島中央環境衛生組合と連携して、ごみの減量及び資源化の促進と環境負荷の軽減を図っています。
私たちが使っているものの多くは海外からの原材料に頼っており、使えるものはごみにせず、大切にリサイクルすることが重要です。
「リサイクル」は、市の「資源物」及び「リサイクルするもの」の収集以外にも、子ども会やPTAなどで行なう資源ごみ回収に出したり、スーパーなどで行なっている資源物回収ボックスに持参することで実践することができます。
ごみ処理による環境への負荷を軽減し、併せてごみ処理経費の大きな負担を軽減するために、一人ひとりがごみ排出量の削減とリサイクルの推進に取組みましょう。

回収店舗	資源回収する種類	回収日時等
エディオン竹原店	使用済み小型家電（ビデオカメラ・デジタルカメラ・ドライヤーなど）	10時～19時 ※手数料がかかる小型家電もあります。要相談。
フジ竹原店	白色トレイ、プラスチックトレイ、発泡スチロールトレイ、牛乳パック	9時～22時 ※卵・納豆・豆腐・カップ麺の容器は不可。
藤三竹原店	白色トレイ、新聞紙・雑誌、牛乳パック、缶（飲料用）、ペットボトル	8時30分～19時 ※新聞紙・雑誌はひもで十字にしばって出す。
ゆめタウン竹原	白色トレイ、アルミ缶、ペットボトル、牛乳パック	8時30分～21時
共通の注意点	<ul style="list-style-type: none"> ○リサイクルの妨げになるため、資源回収する種類以外のごみは絶対に出さない。 ○白色トレイ、牛乳パック、缶、ペットボトルはきれいに洗って出す。 ○牛乳パックは、切り開いた状態で出す。 ○ペットボトルのキャップとラベルは外して出す。 	

毎月第一土曜日は「ひろしま環境の日」



な生活してみませんか？



11月はエコドライブ

推進月間です

日ごろからエコドライブを心がけることでCO2排出量を削減できるだけでなく、燃費向上や安全運転にもつながります。
①発進時はふんわりアクセルを心がけましょう（最初の5秒間で時速20km）。

エコドライブ（発進時アクセル）



- ② 車間距離にゆとりをもつて、加速・減速の少ない運転を心がけましょう。
- ③ 坂道や減速時は早めにアクセルを離し、エンジンブレーキを活用しましょう。
- ④ エアコンボタン（A/C）は車内を冷却・除湿するボタンです。冬場は、温度調節ボタン

⑤ 待ち合わせや荷物の積み下ろしの際は、アイドリングを止めましょう。

アイドリングストップ



- ⑥ タイヤの空気圧を適正に保ち、定期的な点検・整備を行いましょう。
 - ⑦ 不要な荷物は車から降ろしましょう。
- その他に、エコカーの購入や公共交通機関の利用等もCO2排出量削減に効果的です。できることから一つひとつ取組みましょう。

問い合わせ

まちづくり推進課生活環境係
☎ 22-2279